

平成30年8月25日

会員の皆様へ

一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会  
会長 小林 哲朗（公印略）

**アドバンス研修** 研修の開催について（案内）

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、下記の要項で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

**専門研修 ⑦**

■テーマ：スーパービジョン研修

～スーパービジョンを始めよう！バイザーに必要な知識と心構え～

■講師：尾張スーパービジョン研究会

■日時：平成30年12月1日（土）13：30～16：40（13：00 受付開始）

■会場：ウインクあいち 1207 会議室  
\*会場までのアクセスはホームページ等をご参照ください

■対象：・入職4～6年目の方（必須） それ以外の経験年数の方（推奨）  
②これからスーパービジョンを受けようと考えている方（必須）

■定員：30名（先着順） ※会員を優先して非会員より早めの申し込み開始としています

■受講費：2,000円

■申込：別紙受講申込書に記入の上、下記までFAXをお願いします。  
申込み開始 会員：10月1日（月）～ 非会員：10月9日（火）～

■締切：平成30年11月22日（木）

■認定医療社会福祉士ポイント：4ポイント（予定）

■問合せ：安城更生病院（前田）  
☎0566-75-2111（代） FAX:0566-75-2523（直）

■本研修の紹介■

近年の医療政策の流れの中で、MSWに対する需要が高まり、各施設のワーカー数も増加傾向にあります。一方で、業務量は減らないまま遂行期間の短縮を求められ、多忙を極める中での人材の育成・定着化は、MSWにとって大きな課題となっています。

スーパービジョンは職場の人材育成の中で実施していることがあたり前になることが今後求められます。現場の実態としてはスーパービジョン体制がまだ不十分なところも多くあると思います。スーパービジョンは、バイザー側の体制整備だけでなく、バイザー側の心構えも重要になります。バイザーから答えを教えてもらうものではなく、バイザーが自身の実践を振り返る場でもあり、そのためにバイザーが準備し、理解していることが必要な基本を学ぶ場として、今回は、尾張地域でスーパービジョンについて実践を重ねているMSWを、等身大の講師として研修企画しました。MSWの行うスーパービジョンを学ぶ機会として、対象となる方はこの機会に是非ご参加ください。


■講師の略歴紹介■ 尾張スーパービジョン研究会

2010年4月に尾張北部地域の医療機関または併設する介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所で働くMSWで管理的な立場にある者同士でスーパービジョンを学ぶ場として創設。管理者が経験だけで指導していくのではなく、同じ地域単位で相互交流をすることで子育て期の管理者を支援するとともに、地域のソーシャルワーク実践の質を担保する構想を描いて始めた。オブザーバーとしてソーシャルワーク・サポートセンター名古屋に助言をもらいながら、現在第3期までスーパーバイザー養成を行い、バイザー同士で定期的にスーパービジョン内容の振り返りをしている。各地域で同様の取り組みをしようというMSWのサポートもしたいと考えている。

2014年5月には「人材育成のひとつとして体験したことを、多くのソーシャルワーカーに伝えたい」という気持ちから「スーパービジョンを始めよう」という冊子をまとめている。

■専門研修委員会からのメッセージ■

「スーパービジョンを始めよう！」

昨年、スーパーバイザー・スターターのための研修を実施しました。スーパービジョンを始めるためには、スーパー  
ビジョンを受ける環境が必要になります。みなさんの職場や周囲でスーパービジョンを始めている人は増えてきましたでしょうか？

今年の研修は、バイザーのための研修を計画しました。スーパービジョンとはどのようなものか、スーパービジョンをするための心構えなど、枠組みを学ぶ機会とします。スーパービジョンの実際の例などもみることができます。スーパービジョンを始めたい、スーパービジョンを受けるように言われたけど、どのようにしていけばいいのかわからない、という皆さん、是非この研修を参加者同士で共有し、学びあいましょう。

■一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会 専門研修委員会■

安城更生病院 前田美都里 海南病院 嶋田 和寛  
江南厚生病院 野田 智子 西山クリニック・日本福祉大学 山口 みほ  
豊橋市民病院 早川 裕子 知多リハビリテーション病院 若月 亮